

平成 30 年度 事業 報告 書

[1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業 1）

1. 学術講演会の開催

- ・第 114 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日 平成 30 年 11 月 15 日、16 日

場 所 広島国際会議場（広島県広島市）

一般発表 口頭発表 37 題

ポスター発表 117 題

受賞者講演 2 題

シンポジウム 4 題

—2020 年に向けた食の安全への取り組み

1. HACCP に沿った衛生管理の制度化について

厚生労働省医薬・生活衛生局 福島和子

2. 食の国際化における GLOBALG. A. P. の有用性

今瀧 博文（（一社）GAP 普及推進機構）

3. HACCP 制度化に伴う食品施設の衛生管理と迅速検査

柳平 修一（ROBY フードセーフティコンサルティング（麻布大学））

4. 食品事業者の食品安全の取り組み

丹羽信博（イオン（株））

教育講演 5 題

1. 新しい原料原産地表示

- 食品表示基準が規制要求する原料原産地表示の考え方 -

石黒 厚（イカリ消毒（株））

2. 栄養成分検査と精度管理

竹林 純（国立健康・栄養研究所）

3. 食品安全委員会における新しい食品健康影響評価の流れ

佐藤 洋（内閣府食品安全委員会）

4. 広島発の食品製造技術“凍結含浸法”

坂本宏司（広島国際大学）

5. 西日本で多発する麻痺性貝毒

西尾幸郎（四国大学）

論文作成に関するセミナー 2 題

参加者数 約 750 名

2. 特別シンポジウムの開催

2-1 第 21 回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

協賛：特定非営利活動法人日本栄養改善学会、公益社団法人日本薬学会

開催日 平成 31 年 2 月 26 日（火）

場 所 東京家政大学 三木ホール

テーマ：フードセキュリティ ～災害時の食糧供給と食品衛生

1. 災害時の食糧確保と栄養学的課題 西牟田 守（東洋大学）
2. 被災地での経験－被災状況、食生活などー 上田 泰人（神戸市）
3. 食品衛生監視員の被災地派遣～避難所等の食中毒予防～ 平 公崇（東京都）
4. 災害時の食物アレルギー患者支援と課題
赤城智美（NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク）
5. 災害支援栄養士（JDA-DAT）に栄養支援と見えてきた食・衛生問題
笠岡（坪山） 宜代（医薬基盤・健康・栄養研究所）

参加者数 73 名

2-2 ブロックイベント

・関東ブロック第 2 回分析セミナーを下記のとおり行った。

開催日 平成 30 年 9 月 6 日

場 所 幕張メッセ国際会議場

テーマ：知って納得！食品分析 How to do it：ここまで使える網羅的解析最新テクノロジー

1. 分析の fitness for purpose を考える
瀧川 義澄（アジレント・テクノロジー(株)）
山上 仰（西川計測(株)）
2. MALDI-TOFMS の異分野への展開
宮下 隆（キューピー(株)）
3. 高分解能 LC-MS を用いたカビ毒配糖体の検索
中川 博之（(国研)農業・食品産業技術総合研究機構）
4. 食品のオミクス解析～メタボロミクスに基づく食品の質的評価
飯島 陽子（神奈川工科大学）

参加者 70 名

・北海道・東北ブロック（セミナー）

後援：宮城県、日本マイコトキシン学会

開催日 平成 31 年 3 月 15 日

場 所 宮城野区中央市民センター

講演内容 「食品中の残留化学物質分析における現状と技術的課題について」

1. 農産物に残留する農薬の東京都における理化学検査

大塚健治（東京都健康安全研究センター）

2. GC/MS で安定した分析値を得るためには

伊藤功一（秋田市保健所）

3. マイコトキシン(カビ毒)の規制と分析法

田端節子（東京都健康安全研究センター）

4. 食品残留分析における LC-MS の実際

滝埜昌彦（アジレントテクノロジー(株)）

展示企業 6社

広告掲載 1社

参加者数 37名（講師、企業参加者含む）

・東海・北陸ブロック（公開講演会）

開催日 平成31年3月7日

場 所 静岡県立大学草薙キャンパス小講堂

講演内容

1. HACCPの考え方を取り入れた食品製造

ーしょうゆ及びしょうゆ加工品の微生物リスクについてー

高田優子（キッコーマン食品(株)）

2. 食肉内部への食中毒菌の侵入に影響する因子の解明とその制御

島村裕子（静岡県立大学）

参加者 50名

・近畿ブロック（近畿地区勉強会）

開催日 平成31年3月8日

場 所 （地独）大阪健康安全基盤研究所森ノ宮センター

内 容

1. はじめに

食品衛生学会概要説明及び食品衛生学雑誌投稿の勧誘

上田 泰人（神戸市食品衛生検査所）

2. 一般発表 9題

3. 話題提供

1) 異物検査のい・ろ・は

小西利代子（（一財）日本食品分析センター彩都研究所）

2) 腸管出血性大腸菌感染症

山崎伸二（大阪府立大学）

3) これ知ってましたか？食中毒細菌やウイルスたちの意外な素顔

ー過去10年間の驚くべき発見の数々

木村 凡（東京海洋大学）

参加者 90名

3. 公開講演会

- ・平成30年度公開シンポジウムを行った。

開催日 平成30年5月30日

場 所 四谷区民ホール（東京都新宿区）

テーマ 食品安全性評価のための細胞培養技術

1. 動物実験代替に向けた幹細胞技術の開発と食品安全性評価への活用

中西 徹（就実大学）

2. iPS細胞から分化誘導したヒト神経細胞を用いた安全性試験の開発

佐藤 薫（国立医薬品食品衛生研究所）

参加者 82名

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

共催：日本貿易振興機構ジェトロ、一般財団法人食品産業センター、公益社団法人日本食品衛生協会、株式会社食品化学新聞社

「ifia JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第17回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行った。

開催日 平成30年5月16日

場 所 東京ビッグサイト

内 容 東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理

第一部 フードテロ対策の国際動向

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

参加者 98名

- ・関連学会等への共催・協賛・後援

当学会は、関連学会等の団体に下記のとおり共催・協賛・後援を行った。

共催 なし

協賛 ifia JAPAN 2018 第23回 国際食品素材／添加物展・会議 HFE JAPAN 2018 第16回 ヘルスフードエキスポ（2018. 5. 16-18）、日本包装学会第27回年次大会（2018. 7. 12-13）、第25回日本免疫毒性学会学術年会（2018. 9. 18, 19）、標準化と

品質管理全国大会 2018(2018. 10. 3)、第 41 回農薬残留分析研究会(2018. 10. 11-12)、日本食品化学学会 第 3 4 回食品化学シンポジウム (2018. 11. 1)、公益社団法人日本分析化学会 第 6 回受託分析研究懇談会セミナー (2018. 11. 8)、第 17 回放射線プロセスシンポジウム(2018. 11. 21-22)、第 16 回食品安全フォーラム(2018. 12. 7)、新アミノ酸分析研究会 第 8 回学術講演会 (2018. 12. 17)、残留農薬分析国際交流会セミナー (2018. 12. 18)

後援 第 55 回植物化学シンポジウムプログラム (2018. 11. 20)

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業 2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌 (6 冊)	第 59 巻 2 号～6 号	発行部数 2,050 部
	第 60 巻 1 号	発行部数 2,100 部
食品・食品添加物等規格基準 (抄)		発行部数 1,000 部
第 114 回学術講演会要旨集		発行部数 1,100 部

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業 3）

- ・平成 30 年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第 114 回学術講演会において下記のとおり行った。

「学会賞受賞者」 該当者なし

「学術貢献賞受賞者」 該当者なし

「奨励賞受賞者」

岩越 景子(東京都健康安全研究センター)

「農産物中残留農薬の迅速試験法開発と移行に関する研究」

清田恭平((地独) 大阪健康安全基盤研究所)

「食物アレルギー事故防止に関する研究と食物アレルギー定量法開発」

- ・食品衛生学雑誌第 58 巻論文賞授賞式を第 114 回学術講演会において下記のとおり行った。

「PCR-RFLP によるツキヨタケの迅速判別法 <報文>」第 58 巻第 3 号 p. 113～123

菅野陽平¹ 坂田こずえ² 中村公亮² 野口秋雄² 福田のぞみ² 鈴木智宏² 近藤一成² (¹北海道立衛生研究所 ² 国立医薬品食品衛生研究所)

「腐肉食性巻貝キンシバイ *Nassarius (Alectrion) glans* 食中毒事例における生体試料中テトロドトキシン濃度推移と毒成分解析 <報文>」第 58 巻第 6 号 p. 253～259 辻村和也 吉村裕紀 田栗利紹 本村秀章 (長崎県環境保健研究センター)

「学校給食で提供された刻みのりによるノロウイルス食中毒 <報文>」第 58 巻第

6号 p.260～267 宗村佳子¹ 木本佳那¹ 小田真悠子¹ 奥津雄太¹ 加藤 玲¹
鈴木康規¹ 齋木 大² 平井昭彦¹ 秋場哲哉¹ 新開敬行¹ 貞升健志¹ (¹東京
都健康安全研究センター ²東京都市場衛生検査所)

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業4）

- ・平成30年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の補助事業者として若手研究者（リサーチレジデント）1名を継続採用した。

〔5〕その他

下記について試行した。

- ・会員限定 「学術小集会：FHSコミュニティ」の開催（試行）
- ・会員限定 メルマガ配信（試行）
- ・会員限定 論文作成についての相談（試行）

来年度内閣府に定款変更届を提出後、会員相互扶助事業等に関する事業の変更認定申請を提出する。

〔6〕総会・理事会の開催

- ・平成30年度通常総会を下記のとおり行った。

開催日 平成30年5月30日

場 所 四谷区民ホール（東京都新宿区）

議 案 平成29年度事業報告および同決算報告
名誉会員の推挙

- ・平成30年度理事会を下記のとおり行った。

第1回理事会

開催日 平成30年4月23日

場 所 建築家会館 会議室

議 案 入会者の承認

退会扱い者の承認

平成29年度事業報告案及び決算報告案、監査報告

内閣府への事業報告等に係る提出書類について

平成31年度学会賞等選考委員会委員の選出

平成30年度通常招集通知の承認

厚生労働省食品の安全確保推進研究推進事業に係る取扱規程

第116回学術講演会開催地の承認

会員限定「学術小集会：FHSコミュニティ」の試行について

共催・協賛・後援の規程の変更について

第2回理事会（書面）

開催日 平成30年5月14日

場 所 日本食品衛生学会事務局

議 案 平成30年度予算書の修正

第3回理事会

開催日 平成30年10月19日

場 所 建築家会館 会議室

報告事項 業務執行理事の活動報告

議 案 入会者の承認

平成30年度学会活性化委員会委員の追加承認

英文校閲の変更と投稿規程の変更

EBSCO データベースへの収載の承認

学術著作権協会からの転載許可委託について

共催・協賛・後援の規程変更の承認

第4回理事会

開催日 平成31年2月4日

場 所 建築家会館 会議室

報告事項 業務執行理事の活動報告

議 案 入会者の承認

特別会員の推薦

平成31年度学会賞等受賞者の選定

第59巻食品衛生学雑誌論文賞の選定

定款の変更、役員報酬規程の変更

規定の見直し

2019年度（平成31年度）事業計画案および予算案、資金調達及び設備投資の見込み

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規則する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」は存在しないので作成しない。